

エコネットまつもとの温暖化対策の取組み

蜜蝋(みつろう)キャンドル

・石油製(化石燃料、燃やすと大気中のCO₂が増加する)のろうソクとは異なり、蜜蝋はミツバチの巣から作られる、環境にやさしい天然素材です。

・蜜蝋キャンドルを燃やして発生したCO₂を植物が吸収して成長し、その植物を食べてミツバチが成長して再び蜜蝋を作り出すので、大気中のCO₂は増えず、環境の中で循環していきます。(カーボンニュートラル)



蜜蝋(みつろう)ラップ

・石油製の使い捨てラップとは異なり、蜜蝋ラップは蜜蝋と木綿の布から作られており抗菌性にも優れ、洗って繰り返し使うことができます。

・環境にやさしいので、「エコラップ」とも呼ばれています。



竹材の利用(キャンドルフード)

・放置竹林で伐採された竹材の利用が問題になっていますが、竹は捨てるどころがなく様々なことに活用できる素材です。

・竹材利用の一環として、エコネットまつもとは竹材を用いたキャンドルフードづくりを実施し、キャンドル・ナイトで展示しています。



竹材の利用(打ち水)

・打ち水を行うことで地表の温度が下がり、冷房の使用を抑えることができるため、節電・地球温暖化対策につながります。

・家の前の道や庭に水をまくことで、土ぼこりを抑える効果もあります。

・エコネットまつもとは打ち水は、竹筒をひしゃくとして有効利用しています。



キャンドル・ナイト

・電気を消して、環境にやさしい蜜蝋キャンドルの灯りを灯すことで、節電・地球温暖化対策の啓発を行います。

・電気を使わないことで、火力発電による化石燃料の使用を抑えることができ、地球温暖化の原因となるCO₂の発生を低減できます。

・キャンドルフードには竹材を有効利用しています。



木工教室

・森林(人工林)の保全のためには、「植林」→「育成(間伐などの手入れ)」→「(成長した木を)伐採」、そして「利用する」というサイクルが重要です。

・エコネットまつもとは、伐採された木材の有効利用の一環として木工教室を開催しています。



環境に関する講演

・「さわれる地球」を用いて、地球環境や温暖化に関する講演を行っています。

・子どもから大人までの幅広い世代に対して、環境保全意識の醸成を図っています。



ロケットストーブ

・ロケットストーブは、環境にやさしいバイオマスエネルギー(木材)を利用して燃焼します。

・ロケットストーブは、燃焼力が高く、煙も少なく、経済的かつエコであるうえに煮炊きもできます。

・また少ない廃材で燃焼する優れた熱効率などから、「エコストーブ」とも言われています。



■お問い合わせ先■

松本市役所 環境・地域エネルギー課

☎ 0263(34)3268

FAX 0263(34)3202

エコネットまつもとHP

